

く に た ち

6月号に引き続き、「鉄道の将来に向けた研究開発」と題し、鉄道総研が過去5年間に取り組んだ将来指向課題の中から、環境との調和やコスト低減に関する成果をご紹介します。これらは、速達性や利便性を追求する一方で、鉄道が他の社会資本と共存しながら発展していくために重要な分野です。

山形新幹線で開業当時から運用されていた電車が、今年引退するそうです。研究室に配属された頃、真新しいこの電車で車体の振動測定を手伝いました。まだ珍しかった300km/hを超える試験では揺れが大きく、測定器から吐き出されるデータ記録紙へ駅名や速度を書き込むのに苦労しました。

あれから20年が過ぎ、新幹線の高速走行安定性は格段に向上し、300km/hで営業運転されています。鉄道の技術開発はIT分野のそれに比べれば比較的緩やかなものが多いように思います。しかし、振り返ると身近な所に着実な進歩があります。

今月号でご紹介した成果もやがて実用化され、さらに次の技術開発の糧となって行くことでしょう。(T.H.)

■監修責任者

熊谷則道

■編集責任者

西江勇二

■企画・校閲

柳川秀明, 坂本義雄, 豊岡友裕, 佐藤和敏,
遠藤三郎, 早勢 剛, 大江晋太郎, 杉本一郎,
重枝秀紀, 吉田 真, 佐溝昌彦, 福田光芳,
野末道子, 上原元樹, 植木健司, 福田 傑,
藤浪浩平, 高橋紀之, 中山康二

■編集・出版

財団法人 研友社

次号 ■ 平成22年8月号 ■ 予告

特集：シミュレーション技術

インターネットのホームページで、様々な最先端の鉄道技術の紹介や関連する情報を提供しています。

■鉄道総研アドレス

http://www.rtri.or.jp/index_J.html

■研友社アドレス

<http://www.kenf.or.jp>

■記事に関するお問い合わせ先

総務部 広報 電話042-573-7219